



農学研究科・農学部

【部局のミッション（基本理念・使命）】

○農学研究科・農学部は、人類の生存基盤である農学、すなわち食料・健康・環境問題に取り組む生物産業科学に関する高度な研究とそれに基づく総合的な教育によって、世界最高水準の先端的研究成果の創出と指導的人材の育成に努め、もって地域と世界に貢献することを理念とします。

【機能強化に向けた取組方針（～2017年度）】

- 私たちは、学部教育において食料・健康・環境に関する広範な知識と技術を理解し、「人間と環境のコミュニケーション農学」など豊かな農学的思考を身に付けた優れた人材を養成することを目指します。
- 私たちは、大学院教育において食料・健康・環境に関する専門的知識と技術を修得し、国際レベルで食資源開発、食機能開発、生物機能を活用した先端農学研究を展開できる優れた人材の養成を推進します。

【重点戦略・展開施策】

1. 新キャンパス移転のスムーズな実現と施設・設備の充実

これまでの新キャンパス構想を補完充実するⅡ期建物の設計を進めます。今後目標期間内に移転が完了し、新キャンパスにおける教育研究がスムーズに展開できるように計画を立て、実行します。

この移転を機会に、今後のモデルとなる新しいキャンパスを目指して設計に取り組みます。研究棟だけでなく、講義棟や厚生施設でも木材を利用するなど農学的な景観や思索の場を提供できるよう、「環境共生を先導する」キャンパスを創造します。

2. 学部・大学院への優れた学生の確保

入学試験制度の問題点を点検し、入試別の入学後及び卒業後の追跡調査を行うなど、必要な見直しを進めます。高大接続活動を促進させるとともに、オープンキャンパスの充実、さらに一般社会に対しても農学の有用性に関する広報活動を展開します。大学院入試での TOEFL 試験導入に合わせて、進学後の英語力向上を図るための方策を検討します。ドクターサポート等による就学支援、社会人学生、留学生の受入れ支援体制の充実を図ります。優秀な博士後期課程学生の確保に関しては、高度イノベーション博士人材育成センターの「高度技術経営塾」の履修や国際高等教育院生への応募を促すと同時に、それらの成果を積極的に広報します。

3. 社会的要望に応える農学の推進

高品質（良食味、機能性）食品の生産、環境保全など農業の多面的機能の強化、震災復興等の社会的要望に関する農学的知識体系を拡充します。これらに関する行政機関等の大型プロジェクトへの申請の推進・獲得を目指します。政府が先導する「科学技術イノベーション総合戦略」（2013年6月7日閣議決定）に基づく施策が地域資源を守り健康長寿社会を実現するために医農連携・省庁連携の方向で進められる中で、農学研究科はこれに対応していく上で十分な人材と研究領域を有しており、その推進に貢献していきます。

4. 学部教育運営の安定的仕組み作りの推進

学部教育の一部を他研究科教員と共同で構築しており、この状況は研究科間の交流によるメリットにもなります。この研究科間の連携が双方の発展に向かうような関係を目指しつつ、学部教育が将来的にも安定して維持発展できる仕組み作りを推進します。

5. 教育の国際化に向けた支援体制の強化

若手教員の海外交流を充実させるために、サバティカル制度の積極的な活用を促進できる環境づくりを進めます。若手教員がサバティカル制度活用中の教育研究をサポートする方法を検討します。留学生・外国人研究員・外国人教員の受入れ、学部生・大学院生の留学を推進する支援体制を強化します。